

フィールド・スタディ
2019 年度冬期実施プログラム 募集要項

募集期間	実習期間	募集プログラム
2019/10/9(水)～10/24(木) 16:30	2019 年度春休み (2020 年 2～3 月)	P.3 参照



APU生だもの。
まだ見ぬ世界を
見に行こう。

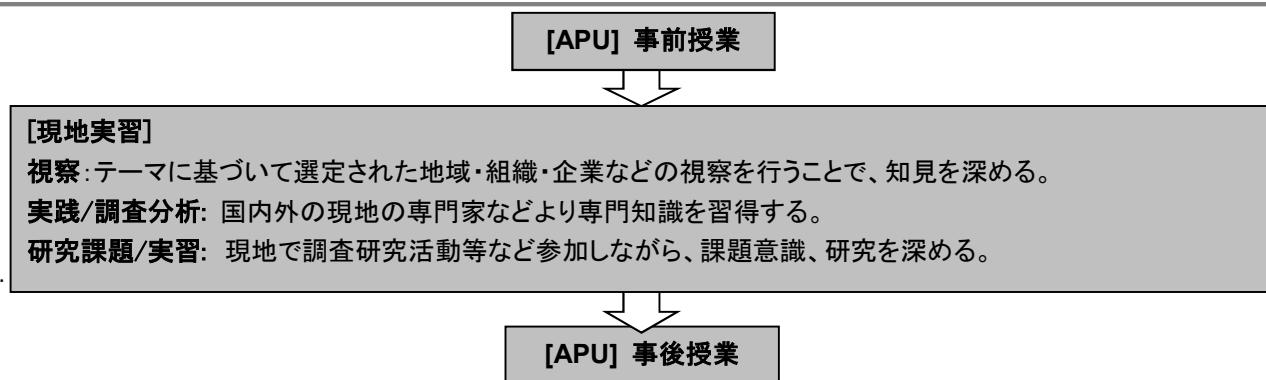
【アジア太平洋学部における特色】

アジア太平洋学部のプログラムでは、アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とする。参加学生は、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じられるようになることを目指す。

【国際経営学部における特色】

国際経営学部におけるプログラムでは、国際的かつ批判的な思考力及び知識・技能を持つ人材の育成を促進することを目的とする。また、専門科目に対する関連付けを高めるために、経済・経営に関する反転的な学習経験を提供するものとする。

プログラムの流れ



申請要件

【セメスター】

- 申請セメスター(2019 年度秋セメスター)に、3-7 セメスターであること。ただし、「APS フィールド・スタディ」は 2 セメスター生からの申請を可能とする。

【学籍状態】

- 申請セメスター(2019 年度秋セメスター)に、通常在籍していることが必要です。
- 申請セメスター(2019 年度秋セメスター)に、在籍状態が「留学」「休学」「退学」となる場合は受講不可です。
- 停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請することができます。
- 「APS フィールド・スタディ」に関しては、申請セメスター(2019 年度秋セメスター)および次セメスター(2020 年度春セメスター)ともに「通常」在籍状態であることが必要です。
- 申請セメスター(2019 年度秋セメスター)が、最終セメスターの場合は申請不可です。

【言語学修状況】

日本語基準学生(スタンダードトラック)が英語開講プログラムを受講する場合

英語中級 A・B の単位を修得していることが必要です。

英語基準学生が日本語開講プログラムを受講する場合

日本語で授業が行われますので、授業内容を理解することができる程度の日本語能力が必要です。

【所属学部】

- 受講者の選考にあたっては、開講学部に所属する学生が優先される場合があります。ただし、開講学部の所属学生以外も申請できます。

【その他】

- 上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があります。詳細は、それぞれのシラバスで確認してください。
- 「大国ロシアに学ぶ世界のビジネス」に申請する場合、ビザ取得のスケジュールの都合上、申請締切日までにパスポートを取得している必要があります。また、パスポートはロシアからの出国日を起算として 6 ヶ月以上(2020 年 8 月 23 日以降)の有効期限がある必要があります。

科目集計分野

科目集計分野

[2011年度カリキュラム]

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	自由選択
APM	自由選択	専門教育科目

[2017年度カリキュラム]

プログラム 開講学部	科目名	APS 学生					APM 学生 専門教育
		APS 専門教育	ED 専門	HT 専門	IRP 専門	CSM 専門	
APS	APS フィールド・スタディ	○	-	-	-	-	他学部科目
	環境・開発フィールド・スタディ (ED)	○	○	-	-	-	
	観光学フィールド・スタディ (TH)	○	-	○	-	-	
	国際関係フィールド・スタディ (IRPS)	○	-	-	○	-	
	文化・社会・メディアフィールド・スタディ (CSM)	○	-	-	-	○	
APM	APM フィールド・スタディ	他学部科目					○

募集プログラム

【プログラム一覧】

開講学部	学修分野	科目名 【上段】11年度カリ、【下段】17年度カリ	プログラム名	担当教員	実習地	単位数	開講言語	上限単位数
APM	-	フィールド・スタディ	大国ロシアに学ぶ世界のビジネス	横山 研治	ロシア	2	J	含まれない
		APM フィールド・スタディ						
APM	-	フィールド・スタディ	Social Innovation and Entrepreneurship (SOLVE)	ALCANTARA Lailani L.	フィリピン	2	E	含まれない
		APM フィールド・スタディ						
APS	CSM	フィールド・スタディ	Experiencing Media, Culture and Creative: Television, Film, Photography and Theatre of Slovakia	MANTELLO Peter A.	スロバキア	4	E	含まれない
		文化・社会・メディア フィールド・スタディ						
APS	IRP	フィールド・スタディ	沖縄から考える戦争と平和	総田 芳憲	沖縄	2	J	含まれない
		国際関係フィールド・スタディ						
APS	-	フィールド・スタディ	国際機関の役割と活動	須藤 智徳	東京、スイス、 フランス	2	J/E	含まれない
		APS フィールド・スタディ						

【注意】

- 各プログラムの詳細は、必ずシラバスで確認してください。シラバスはアカデミック・オフィスホームページに掲載しています。(URL は P.5 に掲載)

プログラムごとの成績について

プログラム名	担当教員	成績授与セメスター	成績発表時期	成績評価
大国ロシアに学ぶ世界のビジネス	横山 研治	2019 年度秋セメスター	2020 年度春セメスター 履修登録修正期間 2	A+、A、B、C、F
Social Innovation and Entrepreneurship (SOLVE)	ALCANTARA Lailani L.			
Experiencing Media, Culture and Creative: Television, Film, Photography and Theatre of Slovakia	MANTELLO Peter A.			
沖縄から考える戦争と平和	総田 芳憲			
国際機関の役割と活動	須藤 智徳	2020 年度春セメスター 成績発表日		

募集概要

募集プログラム

今回募集するプログラムは、「募集プログラム」(P.3)で確認してください。

複数のプログラムへの申請について

- 申請条件を満たす場合、複数プログラムへの申請が可能です。その場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力開始画面に「複数のプログラムに申請しますか」という問い合わせ表示されますので、必ず「はい」を選択し、必要事項を入力してください。
- オンライン申請において「実習日程および事前・事後授業の日時が重複しないプログラムに複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望しますか？」に対して「はい」と選択していた場合も、申請したプログラム同士の実習・授業等の期間が重複している場合は、申請時に選択した優先順位に基づいて、選考を行います。

申請方法

各設定期間中に、以下 2 つの Step を行ってください。

Step 1: 2019 / 10 / 9 (水) ~ 10 / 24 (木) 16:30

指定の HP(下記)からオンライン申請ページにアクセスしてください。

オンライン申請ページは募集期間開始と同時にアカデミック・オフィス HP 上に公開します。

- ウェブ申請のプロセスで、以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
 - (1) 志望理由等
 - (2) 顔写真
 - (3) パスポートの顔写真ページ (海外プログラムのみ)
- アカデミック・オフィス HP: <http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0017.html>



Step 2: 2019/ 10 / 9 (水) ~ 11 / 7 (木) 16:30

誓約書をアカデミック・オフィス内に設置しているポストに投函してください。

パスポートについて(海外実施プログラムのみ)
パスポートの有効期限を確認し、現在持っているパスポートが派遣国・地域が
指定する期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。

パスポートコピー/顔写真のアップロードについて

- ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。
- [パスポート] Passport_氏名_学籍番号 (例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)
 - [顔写真] Photo_氏名_学籍番号 (例: Photo_YamadaTaro_11223344.pdf)

募集ガイダンス日程

日にち: 2019 年 10 月 9 日(水)
時間: 1 回目 15:10~ / 2 回目: 17:00~
場所: (日本語)F207 / (英語)F208

選考方法

- 書類審査による総合的な選考を行います。(書類選考の段階で面接が必要と判断された場合は、別途連絡。)
- 申請者が多い場合、各プログラム実施学部所属学生が優先されます。

選考期間

2019 年 10 月 25 日(金)~11 月 8 日(金)

選考結果発表

2019年11月11日(月)午後 Campus Terminalにて通知

受講者ガイダンス

2019年11月13日(水)5限(教室はCampus Terminalにて案内通知)

危機管理ガイダンス

2020年1月22日(水)5限目(教室はCampus Terminalにて案内通知)

参加における注意事項

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・プログラム参加には所定のプログラムに要する費用を支払う必要があります。詳しくは、各プログラムのシラバスを参照して下さい。
- ・プログラムに要する費用や支払い期限は、受講者決定後11月末までに決定し、Campus TerminalまたはAPUメールを通じて通知します。
- ・支払い期限は12月中旬を予定しています。
- ・支払い期限までに支払いがされない場合、支払い期限日翌日を以ってプログラムへの合格が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、既に発生した費用は学生本人が負担し、成績評価は「F」となります。

保険

個人で既に加入している場合も含め、APU及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

2. 参加において必要な手続き等

航空券・渡航

[国内実施プログラムの場合]

- ・担当教員の指導の下、個人で手配をする必要があります。

[海外実施プログラムの場合]

- ・航空券の手配、支払い方法は、受講決定後、プログラム毎に連絡します。(渡航スケジュールは本学が指定します。)
- ・現地集合、現地解散はできません。また、個人都合による行程の変更をすることはできません。

査証(ビザ)

- ・ビザ申請手続きについては、派遣国や地域、受講者の国籍などの条件に応じて、①学生個人で手配をする、②本学が一括してとりまとめ指定のビザ代理申請会社を通じて申請する2つの方法があります。ビザ申請に関する詳しい情報は、受講者ガイダンスにて大学からお知らせしますが、ビザの取得については、最後まで学生本人が責任をもって確認してください。
- ・原則、ビザの取得については受講者の責任に帰します。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各自で確認してください。なお、ビザ要件は予告無しに変更される場合がありますので渡航するまで注意して確認してください。
- ・オンラインビザ(On-arrival Visa)での参加は認めません。
- ・ビザは、派遣先の国や受講者の国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万一、ビザが取得できない場合は、プログラムに参加することができません。この場合の取り扱いは「その他:プログラム参加の取り消しについて」(P.8)を参照してください。

[国際学生のみ]

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限を確認してください。

在留許可期限の更新・再入国許可について分からながあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

予防接種

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

3. 注意事項

プログラム受講決定後の辞退

- ・ 本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。
プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、受講決定後の辞退は認められません。
- ・ 申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。
- ・ 選考結果発表後(プログラム受講決定後)に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人がキャンセル費用を支払う必要があります。
- ・ 支払い期限内に支払いがされない場合、「辞退」扱いとなり、その時点までに発生した費用は「キャンセル料」として学生本人の負担となります。
- ・ 辞退した者の成績評価は原則として F となります。

履修登録における注意事項

- ・ 事前・事後授業及びプログラム渡航期間が、正課の講義・補講や定期試験・追試験、履修登録期間などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ学年暦とプログラム渡航期間を確認してください。
- ・ 既に登録済みの 2019 年度秋セメスター第 2 クオーター科目・冬セッション科目と、希望するフィールド・スタディ、または、プロジェクト研究のプログラム実施期間(事前授業、実習、事後授業)が重複している場合も、プログラムへ申請することは可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自、履修登録修正期間 2 で秋セメスター第 2 クオーター科目・冬セッション科目の履修登録を削除してください。
- ・ 申請締切から本プログラムの全行程が終了するまでの期間において停学になった場合、それ以降の受講を認めず、本プログラムの履修登録科目を取り消します。
- ・ 成績授与されるセメスターの全期間において停学になった場合、本プログラムに関わる履修登録科目を取り消します。
- ・ 停学になった場合を含み、キャンセルにかかる費用は学生本人の負担となります。

履修計画について

- ・ 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。
- ・ 同じ内容のプログラムに複数回参加することは認められません。申請を希望するプログラム内容が、すでに履修済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

プログラムの中止や内容の変更

- ・ 参加者の健康や安全を第一優先するため、天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合や、最少催行人数(シラバス参照)を満たさないなどの事情によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

キャンセル料

- ・ 選考結果発表後に受講を辞退する場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含みます。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

4. 規律事項について

下記1～4の項目を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出してください。

1) 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2) 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。
(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。

3) 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中止や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3. (2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならぬ。本学、派遣先はその責任を負わない。

4) 入国・帰国 (海外プログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1)および(2)の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラム(海外交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマープログラム、短期winterプログラムおよび単位認定留学(EXPLORE)を含む)においては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、出国日および帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

その他

・ 個人情報の取扱いについて

プログラム参加に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(APU 教職員、APU ヘルスクリニック、派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、日本および参加学生の母国、ならびに派遣国の大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、E メールアドレス、生年月日、パスポート番号、健康に関する情報があります。

・ 姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。特に海外プログラムでは異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。

各自でプログラムの参加目的をしっかり定めてください。なお、派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

・ プログラム参加の取り消しについて

受講態度や出席状況およびその他、プログラムの継続参加に支障がある状況(ビザの不備により派遣地に到着できないなど)等を担当教職員が勘案し、受講継続が不適当と判断される場合、参加者のプログラム受講許可を取り消すことがあります。また取り消しの際、既に費用が発生している場合は学生本人が費用を支払う必要があります。当該支払いについては、「参加における注意事項: 3.注意事項、キャンセル料」(P.6)の内容に準じます。

・ 宿泊

シラバスに掲載されている各プログラムの宿泊形態を確認してください。

宿泊先では、宿泊施設のルールや指示に従ってください。

・ 参加資格について

プログラムへの受講許可が下りていない学生がプログラムへ参加することはできません。

スケジュール

日程	内容
10/9 (水) (15:10~/ 17:00~/	募集ガイダンス (場所: 日本語 F207 / 英語 F208)
10/9 (水) - 10/24 (木) 16:30	募集期間
10/25 (金) - 11/8(金)	選考期間
11/7 (木) 16:30	誓約書提出締切
11/11 (月) 午後	選考結果発表
11/13 (水) 5 限	受講者ガイダンス (プログラム概要、予防接種等)
11月末	プログラム費の連絡
12月中旬	プログラム費支払い、航空券予約及び支払い
11月- 2月(プログラムによる)	APU にて事前授業 (日程はシラバスを参照して下さい。)
2020/1/22(水) 5 限	危機管理ガイダンス (場所 後日連絡)
2020 年 2 - 3 月(または 4 月)	実習及び APU にて事後授業 (プログラムによっては春セメスターに事後授業実施。日程は各プログラムのシラバスを参照して下さい。)
2020 年 6 月 (履修科目登録修正期間 2)	成績発表
2020 年 9 月	成績発表: 2017 年度カリキュラムにおいて「APS フィールド・スタディ」として開講されるプログラム

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

フィールド・スタディに関する問い合わせ先

アカデミック・オフィス B 棟 1 階

TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102

担当者: アカデミック・オフィス 三輪、武田、伊東、枝光

Email: atfs@apu.ac.jp